

つながる沖縄研究

特別講演

16:00~17:00

伊波普猷没後77周年・おもろ研究会77周年記念

沖縄文化協会の歩みと展望(仮)

深く握れ己の 胸中の泉 余所たよて水や 汲まぬごとに

(伊波普猷)

沖縄文化協会は、沖縄学の父伊波普猷の学灯を守ろうという志を抱いた、比嘉春潮・仲原善忠・宮良当壮・島袋源七・金城朝永、5名の沖縄研究者が運営委員となって、1948(昭和23)年9月に東京で創設されました。そして現在、伊波が灯した学灯はその普遍的な価値を認められ、日本の地域学という枠組みを越えて世界中に広がっています。本講演では三四半世紀を越えた本会の歩みを振り返り、これからの展望についてお話しします。



波照間 永吉

沖縄文化協会顧問/前会長
沖縄県立芸術大学名誉教授
名城大学大学院特任教授

研究発表

9:05~15:50

文学 言語 芸能 音楽 舞踊 服飾 民俗 社会 10演題

裏面のプログラムをご参照ください

日時

令和6年 10月 5日 (土) 9:00~17:05

会場

明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント3F 4031教室

会費

会員：無料 非会員：500円

対象

どなたでも



会場は御茶の水駅・新御茶の水駅近くの校舎(グローバルフロント)です。

- JR中央線・総武線/御茶ノ水駅下車徒歩約3分
- 東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅下車徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅(下車徒歩約5分)
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅下車徒歩約10分

お問い合わせ： 沖縄文化協会 2024年度東京公開研究発表会 事務局

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学研究棟307 波照間永子研究室
E-mail:jsos.tokyo@gmail.com

<http://okinawabunka.c.ooco.jp/>

プログラム

総合司会 〈松永 明〉

9:00
開会の辞

波照間 永子（沖縄文化協会 2024年度 東京公開研究発表会 実行委員長）

司会 〈小松 寛〉

9:05
研究発表
午前の部

- ①09:05～09:35 西岡 敏（沖縄国際大学）
沖縄古語における活用語の再構形と今後の展開
- ②09:40～10:10 割子田 あんな（琉球大学大学院地域共創研究科）
**目取真俊「ブラジルおじいの酒」論
—ブラジル移民と戦争をめぐる沖縄の文化的記憶—**
- ③10:15～10:45 久貝 典子（沖縄県立芸術大学芸術文化研究所共同研究員）
『鎌倉芳太郎資料集』にみる御用布に関する語彙について
- ④10:50～11:20 大竹 有子（沖縄県立芸術大学芸術文化研究所共同研究員）
“現代の琉装”を中心とした衣生活における沖縄の表象
- ⑤11:25～11:55 三村 宜敬（公益財団法人南方熊楠記念館）
**本山桂川の与那国島調査
—100年前の写真と現代のリンク—**

司会 〈ティネッロ・マルコ／上地 聡子〉

13:00
研究発表
午後の部

- ⑥13:00～13:30 泉水 英計（神奈川大学）
与那国島にみる戦後沖縄の僻地医療
- ⑦13:35～14:05 古里 友香（神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科博士後期課程）
**本土復帰後の横浜鶴見の沖縄芸能
—「琉線会」の活動を事例に—**
- ⑧14:10～14:40 小橋川 ひとみ（名桜大学非常勤講師）
花城 洋子（前沖縄県立芸術大学教授・比較舞踊学会会員）
**琉球舞踊における創作舞踊の実態
—舞踊公演パンフレット（1965–2014）より—**
- ⑨14:45～15:15 山本 佳穂（東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程）
**女性が歌三線を学ぶ「場」をめぐる諸問題
—沖縄県立芸術大学、コンクール、国立劇場おきなわ、研究所の比較から—**
- ⑩15:20～15:50 金城 厚（沖縄県立芸術大学芸術文化研究所）
18世紀琉球の三線音楽作曲法「節奏わり」と原曲の行方

16:00
特別講演

【伊波普猷没後77周年・おもろ研究会77周年記念特別講演】

16:00～17:00 波照間 永吉（沖縄文化協会顧問／前会長・沖縄県立芸術大学名誉教授
名桜大学大学院特任教授）

沖縄文化協会の歩みと展望（仮）

17:00
閉会の辞

仲原 穰（沖縄文化協会会長）

*懇親会(18:00～)につきましては会場の都合があり大学内では開催しません。近隣の会場を予約しておりますので、参加を希望される方は以下のフォーム（QRコード）から9月28日（土）までに予めお申し出ください。フォームにご記入いただいた連絡先に、懇親会担当（後藤育慧）から返信いたします。

